

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	合同会社NAVA SAI宇土教室			
○保護者評価実施期間	R7年3月20日 ～ R7年3月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24件	(回答者数)	16件
○従業者評価実施期間	R7年3月20日 ～ R7年3月25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	日々の活動のプログラムを曜日で分けて、固定曜日利用の児童も様々な活動に参加できる機会をもつことができるように、月ごとに話し合い決定実施を行っている。土曜日祝日、長期休暇期間等の支援時間が長い日には、外出し、公共機関をりょうしたり、様々な体験が行えるよう企画運営を行っています。	自立に向けた公共施設の利用や公共の乗り物を利用し、乗り方や乗車券の購入の練習や、お買い物体験など学年や年齢に合わせた体験ができるプログラムの実施を企画している。
2	父母の会の活動を支援することや保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	保護者と一緒に参加できる親子イベントや活動、クッキング体験などの機会を月に1回程度行い、保護者同士の交流の場をもつられるように企画、運営しています。きょうだいの参加もできるように年齢制限なく参加できるイベントを企画しています。茶話会も実施を行っています。	定期的な茶話会の開催を行うために、保護者へのアンケートをとり、適切な開催時期を検討中。季節ごとの開催を目指している。
3	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	活動の中でも細分化した活動や役割等の選択肢を設けながら、参加を促しています。やってみたいこと、体験したいことを指導員や友だちにも自由に発言できる場の雰囲気作りも行っている。	体験や活動が前の月と重ならないように企画をし、幅広く体験や経験が詰める環境設定を行っている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか	実施自体を行っていない。	第三者による外部評価をまず行う。評価結果を公表するとともに、支援員間での業務改善へつなげる。
2	地域交流や学校、保育所や児童館等での交流の機会を地域の中で他の子どもや地域の人との活動する機会があるか。	事業所内で企画した活動が主となっており、地域の児童との関わりや保育所や児童館との交流の機会をもつことが出来ていなかった。	地域開催のお祭りやイベント等への参加も行いながら、地域交流の機会を増やしていけるように企画を行う。
3	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	虐待防止委員会の設置自体は事業所内で行っているが、不定期な活動のため結果についても周知徹底が出来ていない。	虐待防止委員会の開催の頻度を決定し、定期的に開催するとともに、その結果について書面で事業所内に公表、周知徹底を行う。